PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace （実施時期：2月／配当時間： 8 時間）

GOALS：対話：「されていること」「されたこと」などについて伝え合う。／対話：平和や折り鶴再生の取り組みについて理解し、伝える。／発表：好きなキャラクターについて伝える。

言語材料：受け身の基本の形／ by ～をつける受け身の文／ by以外の前置詞を使う受け身の文

① 受け身の文　My heart **was broken**. / Recycled paper cranes **are used** in this clay.

② by ～をつける受け身の文　Paper cranes **are sent by** many people to the monument.

③ by以外の前置詞を使う受け身の文　This problem **was known to** people in Hiroshima.

課の概要　修学旅行で広島を訪れたみらい中学校の２年生たち。原爆の悲劇や平和への努力、それに関連した現代ならではの取り組みを知る。

時	コーナー名		主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
			知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く			身の回りのものついて、聞き取ったりクイズを出したりすることができる。	**【知・技】** **<知識>** 受け身の文の意味や働きを理解している。 **<技能>** 受け身の文の意味や働きの理解をもとに、身の回りのものついて、聞き取ったりクイズを出したりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く				
2時		Listen	聞く			何者かによってなされたものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	**【知・技】** **<知識>** by を使った受け身の意味や働きを理解している。 **<技能>** by を使った受け身の意味や働きの理解をもとに、何者かによってなされたものについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く				
3時		Listen	聞く			原料や材料について、聞き取ったり書いたりすることができる。	**【知・技】** **<知識>** by 以外の前置詞を使った受け身の意味や働きを理解している。 **<技能>** by 以外の前置詞を使った受け身の意味や働きの理解をもとに、原料や材料について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く				
4-6時	本文			聞く 読む	聞く 読む	登場人物の修学旅行での体験を他の人に伝えるために、広島平和記念公園の折り鶴に関する対話や記事を読んで、概要や要点を捉えることができる。	**【思・判・表】--【主】** 登場人物の修学旅行での体験を他の人に伝えるために、広島平和記念公園の折り鶴に関する対話や記事を読んで、概要や要点を捉えている［捉えようとしている］。
7時	Review & Retell			発表	発表	登場人物の修学旅行での体験を他の人に伝えるために、広島平和記念公園の折り鶴について、簡単な 語句や文などを用いて、絵や写真を見て、概要を話すことができる。	**【思・判・表】--【主】** 登場人物の修学旅行での体験を他の人に伝えるために、広島平和記念公園の折り鶴について、簡単な語句や文などを用いて、絵や写真を見て、相手に示しながら概要を話している［話そうとしている］。
8時	Action			**発表**	発表	自分が好きなキャラクターについて相手にわかってもらえるように、その由来や好きな理由など、さまざまな情報をまとめて詳しく伝えることができる。	**【思・判・表】--【主】** 自分が好きなキャラクターについて相手にわかってもらえるように、その由来や好きな理由など、さまざまな情報をまとめて詳しく伝えている［伝えようとしている］。